



Assumption

School Report

聖母被昇天学院 学院報

No.11

2010/12/13

Kindergarten

Primary School

Junior & Senior High School





バリアフリーや環境問題を学んだ3年生。 一歩ずつ、社会人の仲間入りをしているからね。



子どもたちの感想文より抜粋。

体の不自由な人と同じ目線で！ (H.Mさん)

私がこのじゅぎょうで、バリアフリーのバリアはよけいなものと言う意味で、バリアフリーのフリーはないと言うことを知った時、私は「なるほどなあ」と思いました。次に実さい目のふ自由な方の気持ちや、車いすに乗っている方の気持ちを知るための体けんをすることになり、私は一体どんな感じになるのだろうと楽しみと、ドキドキでいっぱいでした。一番いんしょうにのこっているのは、目のふ自由な方の気持ちになる体けんでした。その中で同じ目線で相手のペースに合わせることが、やっている方もされている方も安心し、さらに声を一言二言かけるだけでも、きょうふ感が少なくなると言うことがわかりました。

すべての体けんを終え、みんなが集まり意見を言い合った時は、私はうなずくことばかりでした。これから、こういうことを話し合えるじゅぎょうがたくさんあればいいのと思いました。

みんながすごしやすい町に… (R.Fさん)

バリアフリーの体けんで、心へのこり、わかったことが三つあります。一つ目は、手をけがして、かたししかつかえない人のための物があることです。たとえば、じゃ口をまわすのでは使いにくいので、おすだけで、水がでるくふうがされていることです。二つ目は、てんじブロックは、目が見えない人のためにあるということです。止まったり、まがったりするときと、そのまますすむときはちがうので、てんじブロックの上には、物をおいてはいけななと思いました。三つ目は、車イスは少しのだんさでも大へんことがわかりました。道路は、平らとはかざらないので大へんだなと思いました。

その後、宝つかの図書館で「ユニバーサルデザイン」の本をかりました。おとしよりたちにも、いろいろなくふうがされていることがわかりました。お母さんに今日の話をしたら、「あなたが赤ちゃんだったとき、だんさが多くてベビーカーをおすのが大へんだったわ」といっていました。赤ちゃんからおとしより、車イスの人たち。みんながすごしやすい町なんです。

バリアフリー体験で思い やりの大切さを学んだ！

3年生／建築とバリアフリー体験学習
2010年10月13日(水)

大阪府住まいまちづくり教育普及協議会と箕面市社会福祉協議会の方々と一緒に、バリアフリーについて考えました。事前に身近にあるユニバーサルデザインを見つけ、すべての人が暮らしやすい世の中にするため

んな工夫がされているかを学習した3年生。
当日は、車いすに乗ったり、アイマスクをつけて点字タイルの上を歩いたり、体の不自由な方たちの生活を体験し、バリアフリー製品も紹介していただきました。これらの体験を通して、街で体の不自由な方を見かけたときには手を差し伸べることができるよう、みんなで協力することや相手を思いやることの大切さを学びました。

モノを大切に、ムダをなくし 私たちの地球を守ろう

3年生／環境コンサート
2010年10月6日(水)



Femina Club生活意識研究会(大阪市中央区)の協力で、地球温暖化により、今地球が抱えている問題を認識し、地球を守るために自分たちには何ができるかを考えました。当日はピアノとバイオリンの生演奏を聴きながら、美しい自然や生き物の画像を見て、地球のすばらしさを感じることができました。質疑応答では子どもたちから活発な意見が出され、「病気になる地球を治していくのは私たち人間」「これからはモノを大切にし、ムダをなくしていきたい」という声が聞かれました。



みんなの心が一つになった運動会。
栗ひろいやお芋掘り、遠足に消防署見学楽しかったね。

運動会

2010年10月11日(月)

最後までがんばったよ！

年長児は「マーチング」と組み立て体操「クラス対抗リレー」に出場しました。マーチングでは、アニメワンピースの主題歌「風をさがして」と風の「Happiness」を演奏。組み立て体操では、1人技から6人技まで、お友だちと力を合わせて取り組みました。

年中児は「かけっこ」と「リズム」に出場。かけっこの練習では、うまく曲がれなかったコーナーも当日はみごと成功。リズムでは海賊に変身し「ひょっこりひょうたん島」をノリノリで踊りました。

「よいい！ドン！」のポーズがとっても上手になった年少児と満3歳児は、「かけっこ」と「リズム」に出場。リズムでは、赤・オレンジ・みどりのかわいい衣装を着て、木村カエラの曲に合わせて元気いっぱい踊りました。

雨で2日も延びたけれど、子どもたちはご家族の温かい拍手と声援をいただき、最後まで一生懸命がんばりました。

年少児の栗ひろい

2010年9月21日(火)

いっぱい栗を拾ったよ！

止々呂美の中政園での栗ひろい。今年は猛暑の影響で、例年よりも小粒の栗だったようですが、子どもたちは少し険しい山もスイスイ登り、ビニール袋にいっぱい栗を拾いました。

年長児消防署見学

2010年10月19日(火)

消防士さんってカッコイイ！

箕面の消防署を見学。本物の消防車やはしご車を見た子どもたちは大喜び！ 私たちのために日々がんばってくださっている消防士さんのお仕事の様子を知ることができ、とても貴重な体験をさせていただきました。

年長児・年中児お芋掘り

2010年10月14日(木)

秋の味覚を満喫！

土の中から大きなお芋がコロコロ出てきて、子どもたちは大興奮。次の日には「お芋のてんぷらをつくっても

年少児・満3才児遠足(万博公園)

2010年10月18日(月)

コスモスがいっぱい！

春は、年長児と一緒にだったけれど、今回はすっかり大きくなった年少児だけの遠足です。色とりどりのコスモス畑をバックに広い芝生の中で、子どもたちはのびのびと過ごしました。コスモスを見ながら食べたお弁当は、最高においしかったです。





お知らせページを見てください。



ホームページでは普段の生活や活動を可能な限りお伝えできるよう、「お知らせ」のコーナーを設けました。こちらでは写真とテキストをもとに、日々の活動を「お知らせ」できるよう更新作業に努めておりますので、ぜひご覧ください。

4月30日から本学院のサイトをリニューアルオープンしました。トップページからは幼稚園、小学校、中学校高等学校、修道会、同窓会それぞれにリンクしており、教育、子どもに対する考え方などを紹介しています。



幼稚園トップページ



小学校トップページ



中学校高等学校トップページ



修道会トップページ



同窓会トップページ

各種表彰一覧

〈放送部〉

■第57回NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会

高2 前園真菜	朗読部門	第1位
高3 寺西陽菜	朗読部門	第2位
高1 藤原悠希	朗読部門	第3位
高2 綿谷美恵	朗読部門	第6位
高2 笈田 光	朗読部門	入選
高2 吉村玲	アナウンス部門	入選

■第57回NHK杯全国高校放送コンテスト出場者

高3 寺西陽菜	朗読部門	優良賞
高2 前園真菜	朗読部門	
高1 藤原悠希	朗読部門	
高2 綿谷美恵	朗読部門	

寺西さんの優良賞は、全国10人に選ばれ決勝に進出し表彰されています。

■第27回NHK杯全国中学校放送コンテスト大阪大会

中3 田辺薫佳	朗読部門	最優秀	全国大会出場
中2 栗野佑香	朗読部門	優秀	
中3 伊藤弘実	朗読部門	優良	
中2 白河巳桜子	朗読部門	入選	
中2 鄭藍織	朗読部門	入選	

■第34回全国高等学校総合文化祭 放送文化部門(宮崎大会)

高2 吉村玲、綿谷美恵	文化連盟賞
-------------	-------

■第30回近畿高等学校総合文化祭 放送文化部門(奈良大会)

高2 前園真菜	優秀賞
高1 藤原悠希	奨励賞

〈国語科〉

■第29回箕面市青少年弁論大会

中2 石塚日菜乃	優秀賞
中3 須永侑里	審査員特別賞

■第56回青少年読書感想文コンクール 大阪私立中学校の部

中3 大元萌菜美	優秀賞
中2 市丸夏菜	優良賞
中3 安倍実羽子	佳作

〈英語科〉

■第1回TGカップ英語暗唱大会

中2 小西紗起子	奨励賞
----------	-----

■第44回英語スピーチコンテスト

高1 吉田瞳	大阪市長賞
--------	-------

■第57回大阪府中学校英語暗唱大会

中3 田窪まゆ	入賞
---------	----

■第50回大阪府高等学校暗唱・弁論大会

高3 中村真由美	弁論の部	5位
高3 廣澤利佳	暗唱の部	奨励賞

■第62回高円宮杯大阪大会

中1 中越采子	2位
中1 高柳薫杏	4位

■第6回大阪私立学校中学校暗唱弁論大会

中2 猪口愛里	暗唱の部	優勝
中2 渡邊未来	弁論の部	3位

※誌面の都合上により表彰された全ての生徒の名前を掲載することができませんでした。ご了承ください。

チャリティ・デーお礼 10月23日(土)

チャリティ・デーは、好天に恵まれ多くの皆さまにご来校いただきましたことを心より感謝申し上げます。これも皆さまの寛大なご理解、ご協力のたまものとお礼を申し上げます。「今、私にできること…」と今年度テーマにありますように一年を通しての保護者の皆さまのまごころが実を結び、今回もまた多くの人びとと分かちあ

えることができることに感謝いたします。今年度チャリティ・デーの売上金は3,158,734円、お米は306.45kgでした。ありがとうございました。寄付詳細につきましては、あらためて報告させていただきますと存じます。ご了承ください。

チャリティ活動委員会 委員長 シスター中山カナ子

※金額等については最終集計で変更の可能性があります。



伝統を受け継ぎ、日頃の練習の成果を発揮し 箕面市長賞に輝いた「ハンドベル」と「中高放送部」



ハンドベル 箕面市長賞

ハンドベルの音色よ、
世界に響け！

8月3日(火)～7日(土)に大阪国際会議場で開催された「第14回ハンドベル世界大会」に、聖母被昇天学院ハンドベルクワイアに所属する高校生12名が出場しました。日本での開催は12年ぶりで世界11の国と地域から1200人余りが参加。チーム演奏や各国クワイアとの混成チームによる演奏などを通じて友好を深めました。

9月1日(水)には出場した本校生に箕面市長賞が贈られ、田中詩野さん(高3)が代表で表彰状を受けとりました。倉田哲郎市長は「今回の貴重な経験を生かし、後輩の方々へ引き継いでください」と話されました。今後益々の活躍が期待されます。



放送部 箕面市長賞



伝統の中高放送部
今年もコンテストに出場

9月27日(月)、本年度の「第57回NHK杯全国高校放送コンテスト」の全国大会、並びに「第34回全国高等学校総合文化祭」に出場し、優秀な成績を獲得した高等学校と、「第27回全国中学校放送コンテスト」に第3回の初出場以来、23回目の全国大会に出場した中学校高等学校の各放送部に対し、箕面市長賞が贈られました。

表彰式では、中学校放送部代表の田辺薫佳さん(中3)が、放送が好きで放送部に入りました。高校に行っても先輩方を目標にがんばっていききたいと、高等学校放送部代表の寺西陽菜さん(高3)は、「中1から6年間全国大会に出場。朗読はまず作者の生い立ちや時代背景など

を学び、その世界に入ってから行い、集中力を高めてがんばりました」と話しました。倉田市長からは、「課題に取り組む姿勢は我々も見習うところがあります。中学校高等学校とも全国大会にはほぼ毎年出場され、すばらしい成績を残されているが、今後もこの伝統を守ってほしいです」とお祝いの言葉をいただきました。

第2体育館がリニューアル

明るくきれいで
使いやすくなりました！

リニューアルされた体育館は床と壁が貼り替えられ、高い天井には広い範囲に光が届くよう水銀灯を設置し、床は滑らないよう工夫。バスケットボールやバレーボールの公式試合に対応でき、特にバスケットボールは箕面市主催の大会にも使われます。





13 グループの分かち合いをしているところです。
12 聖堂に仕立てた教室で祈りました。
13 インドのシスターが村の子どもたちに草笛を教えようとしています。
14 タボム村を歩いて訪問しました。
15 タボム村の典型的な家です
16 夕暮れになると村人が農作業から戻ってきます。



20 生徒たちが北東部の村特有の踊りを披露してくれました。
21 村人たちと一緒に踊りを楽しみました。
22 踊りを披露してくれた子どもたちと一緒に。



23 再びバンコクに戻り、市内にある仏教寺院を訪れました。中央におられるのは女性の僧侶です。
24 最後の一日は研修会の「総まとめ」みな真剣でした。25 そしてみな笑顔でそれぞれの宣教の地へと帰っていきました。



17 スクールバスに乗って40分、メコン川を目指しました。18 メコン川、対岸はラオスです
19 メコン川、ラオスを背景に姉妹たちと。

タイの聖母被昇天修道院での研修会

2010年10月11日から27日まで、聖母被昇天修道会のアジア5カ国、日本、フィリピン、タイ、ベトナム、インドの姉妹たち25人が集まって、タイのバンコクと北東部のタボム村にある聖母被昇天修道院で研修会が行われました。日本からは私1人が参加しました。聖母被昇天修道会は世界に広がり、フランスのパリに総本部がありますが、数年前から各大陸で様々な研修が行われてきました。それは各大陸特有の文化を尊重し、それぞれの国の文化や伝

統、社会の現状を学びながら、その中にどのような呼びかけやチャレンジがあり、キリスト者であり修道者である私たちはどう応えて行かなければならないかを考え、祈り、識別していくためです。今回、私にとっては初めてのタイでした。研修会のみならず、この15日間のタイでの滞在は、私にとって新しい発見の連続でした。全世界共通の聖母被昇天の温かい姉妹たちとの交わりの中で、自分を振り返る良さ体験となりました。神に感謝。



1 右から2人はベトナム、そして5人インド、あとはフィリピンのシスターとお友達、それに私です。2 食事の様子。3 インドのシスターたちの姿も見えます。4 バンコクの修道院でフィリピンとタイのシスターたち。5 バンコクの市中を流れる川を船で遊覧しました。



6 露天の食堂で昼食をいただきました。7 エメラルド寺院の外観です。8 寺院に入る前に蓮の花で身を清めます。



9 バンコクからバスで10時間、タボム村にある聖母被昇天修道院です。10 研修風景。



森田和一理事長へのインタビューより

Mr.Morita interview

～アサンプション・ファミリーを通じて世界につながる～

小さくてもキラリと 光る学院をめざす

私たちの学院は箕面の山麓にある小さな学院です。しかし、世界のアサンプション・ファミリーとつながり、創立者聖マリ・ウー・ジュニーの精神を受け継いで、小さくてもキラリと光る学院をめざしています。

私が学院長でもあるシスター・中山から引き継ぎ、本学院の理事長に就任させていただいたのは今年の8月1日ですが、10年ほど前から本学院の業務に携わっています。子どもたちと一緒にバス通学でいろんな会話を交わすうち、バス友になった小学生姉妹も今や中学生。礼儀正しく、

周囲に気配りのできるレディーに成長しました。また、幼稚園をたずねると園児たちが「おじいちゃん」とかけよってきてくれます。私はいつも本学院の子どもたちを見てみると「みんな、本当にいい子だなあ」と顔がほころびます。そして、将来それぞれが自分の使命を見だし、きっと社会で活躍できる素晴らしい女性になるだろうと想像するだけでも楽しく、胸がいっぱいになってくるのです。

創立者が願った 女子教育の実現

本学院では、キリスト教を中心として、一人ひとりに神様から与えられている無限の可能性を引



学院が発展し続けるための方策を打ち出し、達成するために一つの方法だけでなく、二の矢、三の矢を用意して1年ごとにそれを実証し、社会環境の変化に対応できるローリング方式に取り組んでいます。

無限の可能性をみつけ 世界でたった一つの花に！

「トップクラスの先生による、トップクラスの教育によって、トップクラスの園児、児童、生徒を育て、平和のための働き手を世に送り出す」のが我々の使命です。しかし、それは決して「人の上に立ちなさい」と教えるのではなく、「神様からこの世でたった一つ自分だけに与えられた、大切なものに気づかせる」という意味です。

聖書の中で私がもっとも好きな言葉は、ヨハネの福音書 16章 24節にある「求めなさい。そうすればその願いはかなえられる」です。実際、私も若い頃よりこの言葉どおりの人生を歩んできました。もちろん、そのための努力は惜しみませんでした。本学院の子どもたちも夢や、やりたいことを見つけたら、どんなに難しいことでも決して無理だと諦めず、それを叶えるために努力し、卒業するまでに自分自身がキラリと光る“何か”をつかんでほしいです。

そして、本学院がさらに発展し続けるためには、現在の日本の社会が求めていることに柔軟に対応していくこと、小中高の一貫教育の推進を具体的に迅速に取り組んでいくことが大切と確認。本

